

ワードプロセッサと伝統的的文字文化試論

An Essay on the Use of the Japanese Language Word Processor Versus the Traditional Culture of Writing Japanese Characters by Hand

野 波 弘 子
Hiroko NONAMI

I. はじめに

昭和53年、日本語ワードプロセッサ(以下ワープロと言う)がOA化ブームの先頭を切って、日本の市場に登場した。以来、ワープロは10年余りの間に時代のニーズに応えながら急激に普及した。そしてオフィスのみならず家庭にも浸透しつつあり、昨年度の経済企画庁による耐久消費財調査で、ワープロの家庭普及率は32.6%と、約3所帯に1台の割合となった。¹⁾

現在、各メーカーは、家庭に1台のワープロをめざし、その達成はすでに時間の問題になっていると言っても過言ではない。

しかし一方、日本では、毛筆の使用、書道といった欧米の文字とは違う独特の文字文化を育んできた。即ち、日本語は漢字・ひらがな・カタカナという複雑な表現を持った言語である為、欧米のタイプライタの急速な普及に比べて、文字の活字化に遅れを取ってきたのである。それがワープロの開発により一挙的に解消されるようになった今、自分の考えた言葉が即時にワープロの文字という、活字にほとんどひけをとらない文字として出力される便利な時代を出現させてきている。

では、ワープロの文字は、日本の伝統的な手書き文字の文化、または文字に対する意識にどのような影響を与え、我々の生活の中にどこまで入り込むのであろうか。

このような問題意識から、筆者は、ワープロ及び文字に対する意識調査を試みた。詳細は省略するが、調査結果については、後述の(註)²⁾を参照してもらいたい。本稿において、その結果をもとに、もう一度文字の持つ意味を再認識し、ワープロの活用範囲を考え、ワープロの良さをどこに生かすべきかを考察したい。

II. ワープロ文字と手書き文字

II-1. 文字に対するイメージ

文字に対して、我々はどのような意識を持って接しているのか、文字を書く時に手書きと

活字をどのように使い分ければよいと考えているのか。

今回行った調査結果によると、まず、活字は、ビジネス文書・レポートといった公的な文書に使うのが良いという意見が多かった。そして、活字を使う良さとしては、画一化された文字からくる読みやすさ、正式な文書らしく見える事などが挙げられた。これらの意識は、活字にすることにより、より一層公的文書のイメージを大きくし、信憑性を持たせる効果があると多くの人が考えている。

一方手書きの使用範囲としては、私的な文書に多く使用され、その良い理由としては、気持ちが伝わる、個性が現れる、さらには手書きだと本人の心理状態までわかるということであった。我々は無意識のうちに、手書き文字による個性の表現を楽しんでいるのである。このように、手書き文字には、情報伝達以上の感情表現の意味合いが含まれている。筆跡について、心理学に関連するひとつの項目で「グラフォロジー（筆跡学）」として研究されているように、人の個性と手書き文字は密接な関係にあるのである。³⁾

次に、活字・硬筆・毛筆から感じるイメージの違いでは、まず、活字でもらう手紙には、事務的で冷たく、そして気持ちが伝わらないというマイナスのイメージを持つ人が多い。即ち私的な手紙が、ワープロでも出せる時代になったとはいえ、受け取る側のイメージはあまり良くない。

また、硬筆の手紙は、現代の主流である為、特別な意見はなかったが、一般的に気持ちが伝わり親しみを覚えるという意見であった。

さらに、毛筆のイメージに関しては、個性の表現、芸術性、改まったというイメージが多い一方で、威圧的、堅苦しい、厭味な感じとを感じる人と両極端の意見が見られた。しかし、若者への毛筆離れの傾向は、あまり見られず、年齢差による違いはないようであった。つまり、若い世代にも毛筆のもつ特別な意味合いは浸透しているのであった。

さて、毛筆が現在の生活の中で最も根強く残っているものとして、熨斗（のし）紙・熨斗袋の表書き、結婚式・お葬式等の際の芳名帳への記入などが挙げられる。それらの共通点は、慶事・弔事・返礼など、つまり“人生のくぎり”、何かの始まり、終わりに関することである。それは年賀状にもあてはまる。毛筆は、気持ちの切替え、けじめの意味を残し、現代に生き続けているのである。

文字の持つイメージの役割は大変に大きい。活字による信憑性、そして手書きによる個性、さらには、書体による風合いの違いなど文章の内容に、様々な影響を及ぼしているのである。

Ⅱ－２．書道文化と書写教育

手書き文字が、現在でも大きな支持を得ている背景として、書道は日本の文字文化の象徴として切り離すことができないものである。書道は、「文字を素材とする造形芸術」⁴⁾として定着している。

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

この日本の書は、文学や思想を記録するのに、文字を美しく筆で書いたもので、これが芸術の一つにまで昇華されたのが始まりである。黒田正典氏は、『書の心理』の中で、「西洋の伝統的な筆跡学は、多分に占いと身の上相談として発達したのに対し、東洋においては、・・・筆跡などは“書”、“書道”として特別の芸術的地位を占めた。」⁶⁾と述べている。つまり西洋の文字に対する認識と東洋のそれとの大きな違いがここに現れているのである。そして日本人は、文字から風情、わび、さびの世界を感じることでできる感性を持っているのである。我々の手書き文字への愛着は、このような「字を美しく書く」書道という文字文化や意識から生まれていることは十分に考えられる。

また、日本人の手書き文字に対する意識には、日本の文字教育によるところも大きい。日本では、小学校・中学校の義務教育において、国語科の授業に書写の授業が設けられている。指導要項では、「手書き文字には、言語としての機能性と表現性（視覚性、芸術性、個性など）が、いつの場合にもつきまとうものである。」⁶⁾とあり、「正しく整った字」を書く能力を養う為に書写を指導している。また、筆順の指導に時間をかけていることも、美しい字を書く為の大きな要因として重要視されており、これは科学的にも立証されている。⁷⁾

そして、平成元年度から小学校の国語科の指導要項の改定で、書写の時間が見直され、授業数が増やされた⁸⁾ことは、現在の文字の乱れの傾向を直し、日本の手書き文字を大切にするという意味において、情報化社会というコンピュータの文字が多い今日では注目すべき点である。このように「字を正しく書く」指導も、我々の手書き文字への意識の根底に潜んでいるのである。

また、カルチャーセンターで新しくワープロ講座が開講されているにもかかわらず、書道の講座にも根強い人気があることは見逃せないことである。さらに、ペン字に関しては、現在の社会において企業秘書の資格として、ワープロ検定の資格と同様にペン字検定の資格が重要視されている⁹⁾。このような点からもワープロ文字の普及もさることながら、手書き文字の必要性は社会的にも大きいものと判断できるのである。

以上のような、文字文化、文字教育への熱心さが、手書きに対する信頼を醸し出しているのである。

Ⅲ. ワープロの浸透度

Ⅲ－１. 公的文書と私的文書

さて、ワープロを使用するようになった今日、ワープロの文字は公的文書と私的な文書の領域に、どのように浸透していくのであろうか。ワープロを使用している人と使用していない人で違いを見ると、公的文書においては、ワープロを使用している人に活字への指向が大きくなっている。今後ますますワープロの利用者が多くなる中で、公的文書に関しては、ワー

プロ文字の浸透が、確固たる位置を確立するであろう。それには、官公庁への提出資料がワープロの文字でも認められるようになったことも大きく影響している。また、別の問題として、ワープロ文字が公的文書で使用されることにより、印鑑中心の日本で自筆のサインの意味も見直され、欧米のように重要になってくるであろう。

しかし、ワープロを使用していても私的な方面への活字の指向はあまり延びていない。つまり、私的な面での利用にはかなりの抵抗があるようである。私的な手紙をもらう場合、「下手でも手書きがいい」という傾向が強く、そのことからやはり手書き文字への愛着は大きいことがうかがえるのである。

Ⅲ－２ 履歴書 ー外国人との意識の違いー

文字に対する外国人の意識については、先ず、活字と手書きの使い分けは、ほぼ日本人と同じ傾向であり、公的文書には活字、私的な文書には手書きを使用していた。その理由も日本人とほぼ同じ傾向にあり、手書き文字には個性、親しみの表現が含まれているようである。しかし、公的文書には着実に活字が定着しており、活字でないと公的文書と判断されない、信憑性がない、公的文書に手書きは使用しないなど、使い分けの傾向がよりはっきりしている。また、読みやすさを重視するという意味で私的な手紙においても活字を使う人の割合は日本人よりも多かった。

外国人における活字の定着の理由は、やはり欧文タイプライタの100年以上にもわたる歴史によるものであろう。外国人は、タイプライタ又はワープロを10歳代、中学校・高等学校の時代から使用しており、使い分けの習慣が自然に備わっていることが考えられる。日本人では、10歳前半に、書写教育が行なわれている一方で、欧米では、その年齢からタイプライタの授業があるという違いは、活字に対する意識にも影響を及ぼしているであろう。

外国人と日本人の活字と手書き文字の使い分けの違いが顕著に現れたのが、履歴書であった。日本人の調査では約80%が手書きと答えているのに対し、外国人は90%がタイプすると答えた。全く正反対の興味深い結果が現れた。つまり外国人には履歴書はタイプで打つのが常識となっているのである。タイプライタが使えない人は使える人にタイプしてもらうというコメントすらあった。

まず、履歴書を受け取る側から見ると、日本の企業の場合、文字からその人の性格や個性を読み取ろうとする傾向にある。これは前章で述べた理由からも明らかである

一方で、外国の企業経営者がどういう発想で人を選ぶかということ、履歴書の文字自身からその人の性格や個性を読み取ろうとはしない。履歴書はあくまで本人のキャリア情報として使用され、日本人のように、文字による人格判断はされない。ここに日本と外国の文字の意識に対する大きな違いがある。

今後、日本で、ワープロの普及によりますます公的文書に活字の利用が増える中で、履歴

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

書に関しては、“手書き”が残るであろう。

Ⅲ－３．毛筆体ソフトワープロは毛筆を越えられるかー

さて、活字、硬筆、毛筆の活用範囲に、ワープロがどの領域で使われているのだろうか。ワープロの発売当初は、活字・硬筆の分野だけであったが、毛筆体ソフトが出ることにより毛筆の分野にまで浸透してきている。各メーカーは、ワープロが毛筆の分野へも浸透することをめざし、毛筆の楷書体・行書体・草書体のソフトを作り、最近では標準装備されているワープロが多くなっている。この毛筆体ソフトは、私的な文書へのワープロ文字の浸透が、今回の調査でもむずかしいという結果になった中で大きな意味を持っている。

毛筆文化に対する日本人の意識には、深く根ざしたものがある。そこには、活字と手書きの間での越えられない壁があった。しかし、毛筆体ソフトは確実に浸透してきている。これは、書体が持つイメージからくるものだと考える。毛筆体は、限りなく手書きに近い様相を醸しだし、また線の太細・丸みからくる風合いがある。これに対して日本人は本能的にあたたかさを感じる。ワープロ文字の年賀状であっても、明朝体よりも毛筆体に、より親しみが持てることはそのあたりに起因しているであろう。

また、毛筆体の利用として、呉服屋の看板・そば屋ののれんなどに、現在でも広く用いられている。それらの文字がワープロ文字で“そば・うどん”のように書かれていたら、おそらくおいしさまで半減してしまうであろう。このように文字から情緒を感じることは日本人独特の感性であろう。

さらに書体に関して言えば、明朝体、ゴシック体、教科書体は勿論のこと、現在では、書けない人が多くなった草書体、さらには、江戸文字体などあらゆる書体をワープロを使うことによって活用できる。衰退していく書体への復活の意味も大きい。

また、現代文字の丸文字までが、書体として提供される時代である。今後、もし“手書き風”として、あらゆる個性のある書体が開発され、手書きと見分けがつかない洗練された文字が出てくるなら、私的な文書へのワープロ文字の壁はなくなるかも知れない。ワープロの開発技術の進歩は測り知れない可能性を潜んでいる。

Ⅳ．ワープロ普及による文字文化の変化

Ⅳ－１．漢字を忘れる？——“打つ”と“書く”の違い——

ワープロは、手書き文字への浸透だけでなく、あらゆる方面に影響を及ぼしている。

一つには、ワープロは清書機ではなく、文書作成機である。つまり文章を“書く”から“打つ”に変わった。その影響はどこに現れているのだろうか。

まず、ワープロを使い始めて「漢字を忘れた・書けなくなった」とよく言われる。“打つ”

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

場合、漢字はキーボードからひらがな又はローマ字を入力することにより画面に提供される。その中から使用者が漢字を選択する。さらに文法解析の進んだワープロでは、勝手に“かな漢字まじり文”が作成できるのである。考える必要が全くなくなる。すなわち、頭で文字を考え指に伝えるという作業が省かれ、視覚で選ぶという判断のみになる。これは字を書かなくなると漢字を忘れるのと同じ様な意味で「漢字を忘れる」ことにつながる。

たとえば、いつもワープロを使っている人が、黒板などに文字を書く時、ワープロでは打てる漢字が、漢字の輪郭はわかるのに突然書けないということを耳にする。

文字を“書く”というのは、脳の刺激にとって大きな意味合いを持つ。文字を書く時、無意識のうちに筆圧など様々な配慮をしている。これは大沢一爽氏による『文字の科学』の中、「脳波トポグラフィと五指筆圧記録の相関」において、“書く”という指の動きによる脳への反応からも証明されている。¹⁰⁾ “打つ”と“書く”では脳への影響も違うようである。

ブラインドタッチは、思考を妨げない為にあると言われるが、それにより書く能力が衰えるのでは大変な問題である。欧米のタイプライタでは、単語のスペルは自分で考えてタイプする。日本語ワープロとは、その点で大きく異なる。今後ワープロが若い世代から使用されるようになることは、漢字が読めても書けなくなる可能性は大きい。

IV-2. 文章・文体の変化

次に、文章への影響としては、ワープロを使うことにより、逆に漢字の多すぎる文書になることが考えられる。ワープロでは、自分の知らない漢字まで数多く提供される為、選ぶ側は、手で書く場合には通常使わない漢字までも使用することができる。そして、安易な選択により、従来の手書きの文章とは違った雰囲気のある文章を作ることになる。これは、情報過多と言われる今日で、選択能力が問われるのと同じであろう。このことに関しては、倉谷直臣氏は、雑誌国文学の「ワードプロセッサは日本語を変えるか」¹¹⁾という論文の中で、簡単に漢字変換される能率の良さからくるものだとして述べている。また、田中良太氏は『ワープロが社会を変える』の中で機械任せの文字選択という意味で同じようなことを述べている。¹²⁾ さらに田中氏は文章にくせがなくなり「さらっとした文章になる」としている。“打つ”ことをたとえて、“手がしゃべる”とも言われる。“書く”ことから“打つ”ことに変わったことで、文章が話言葉に近づく可能性もあるのである。

また、文章を書く順番が変わることも考えられる。文章を原稿用紙に書く場合、頭で整理してからペンを動かす。ところが、ワープロの場合は、思いついた発想・言葉をまず画面にメモし、それを画面の上で整理して文章を形作っていく。考えをまとめる場所が画面の上ということになるのである。

これに対して、良い点として挙げられるのは、訂正が簡単にできる編集機能のおかげで、

推敲能力が高まり、より洗練された文章を書くことができることである。また、すぐに活字になることにより、文章を客観的に見ることもできる。しかし、逆に推敲が簡単に何度もできることにより、個性のある独特の文体が、上述した「さらっとした文章になる」ことも考えられるのである。たとえば、作家が、ワープロで原稿を打つことにより文体が変わり、いつ頃からワープロを使い始めたかがわかるとも言われている。

しかし、ワープロを使う事によって、頭に思い浮かんだことが、すぐに字になるため、各自の個性が自然に現れることも考えられる。つまり、書くとは違う、より個性的な文章を作ることが可能ではないか。ワープロでは、字体には個性が出ないと前章では述べたが、文章においては、今まで手で書くことでは現れなかった別の個性表現ができるのではないか。

以上のことは、一概に、良いとも悪いとも言えないが、ワープロで“打つ”ことは、確実に日本語の文章・文体に影響を及ぼしているのである。

Ⅳ－３ ワープロによる個性表現

ワープロ普及により、文字文化は変化を起しつつある。漢字の問題、文章への影響、そして次に挙げられるのは、文書を、“読む”前に、“見る”という視覚で訴える点が重要視され、その実現を可能にするのがワープロなのである。

ワープロでは、文字の大きさ、書体、レイアウトなど様々な編集機能を使うことにより、より視覚によって引きつける文書を書くことができる。つまり、先ずは、見た眼において、より完成度の高い、説得力、表現力のある文書を作成しようと試みる。これはまさに文書への意識の向上である。

たとえば、会社の会議用の資料においては、読んでみたいと人に思わせる文書を作らなければならない。それには、まず内容に入る前に視覚で訴える効果は大きい。文字に、“読む”だけでなく“見る”の要素が加わるのである。文字の機能として情報伝達の意味以上のものがあることは、第2章で述べた通りである。読みやすさからは活字、文字による個性表現としては手書きに軍配が上がった。これからのワープロの文書は、その読みやすさとあわせて、いかに見やすさという点で文書に個性を出すかが問われる時代であろう。最近のワープロは、その実現を可能にしている。たとえば、DTPは、新聞などの編集作業を行う為に追加された機能であったが、今では、ポータブルワープロにおいても、ダウンサイジングワープロとして装備されている。今後は、それを使用する側の表現力にかかっている。

また、最近の傾向として、若い世代の活字離れが言われている。本からではなく、テレビ・ラジオから情報を吸収できることにより読むことが減り、また電話の普及により、書くことから離れる傾向にある現在で、解説書や教科書がマンガ化される傾向にある。つまり絵で見て説明する方法が流行している。

この若い世代の活字離れを引き戻すことができるのがワープロである。

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

ワープロの良さは、この“見る”文書となることにより、より一層有効に利用されたことになる。ワープロでは、個性表現ができないと言われたが、“見る”文書を作ることにより、あらゆる個性の表現が可能だと考える。ワープロの出現により、文書への意識は大きく変わろうとしているのである。

V. これからのワープロ

V-1. 現在のワープロ教育及び問題点

短期大学のワープロ教育に携わっている立場で今の学生を見ると、将来の為にワープロ操作を覚えておく必要があると強く感じている。

授業は、学生のニーズ・就職の有利さなどの面から日本商工会議所主催の日本語文書処理技能（ワープロ技能）検定（以下ワープロ検定という）3、4級取得を目標にした内容を中心に行っている。この授業方法には、利点と欠点がある。

利点として考えられることは、学生が身近な目標を持つことにより、限られた時間を有効に使って集中的に操作の練習をする。特に日常実践のない学生にとっては身近な目標があることの効果は大きい。そして、学生は検定を取得したということにより、努力が認められたという満足感を味わうことができる。3級を取得した学生であれば、一応、基本的なワープロの操作能力は備わったと判断できる。就職の有利さという点でも、就職先としては、ワープロの操作能力を判断する上で、一つのめやすとすることができる。

また、ワープロ検定の3級の程度である、「日常業務においてワードプロセッサによる文書処理に関する基礎的な実務知識および技能を有する程度」¹⁹⁾に関しては、出題される問題の内容は適当であると考ええる。たとえば、入力速度に関して言えば、4級で10分間に300文字、3級では400文字を打つことが最低条件である。手書きで、10分間に300字から400字が普通であると言われているのであるから、それに見合う速度は必要であろう。

しかし、授業でワープロ検定を目標にする際の欠点として、その入力速度の点が挙げられる。授業という限られた時間の中で、打鍵数を伸ばしていくとなると、入力練習を集中的にしなくては、効果は上がらない。結局、授業でも、入力重視の傾向になってしまう。本来、キー打鍵の練習は、キーボードの操作に煩わされない様に、キーを見ないで打つブラインドタッチをマスターすれば、色々な文書を打っていくうちに自然と入力速度は伴うものである。ここに、ワープロ検定を授業で目標にするものの問題が生じてくる。

また、現在のワープロ検定では、入力問題の他に、文書作成問題が出題されている。この対策としては、定型化されたビジネス文書の形式を身につけ、限られた時間の中で、ワープロの機能を有効に使用し完成させるという操作中心の指導をしている。しかし、この方法では、学生の創造力を開拓する指導はできない。

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

しかも、ワープロ検定は、昭和60年発足以来、年々内容が難しくなっている。その内容の難しさとは、どちらかという文書量が多くなるという方向に傾いている。それは、ワープロ技術が年々進歩し、より便利に操作ができるようになったのに合わせてのことであろうが、日常実践のない学生にとっては、益々追われる立場で練習しなければ合格は難しくなっている。

即ち、授業でワープロ検定を目標にする問題点として、ワープロを使い始めた初期の段階で入力練習に時間をかけることにより、学生も速く打てれば文書処理能力があると錯覚してしまう。また、定型化したビジネス文書の操作を繰り返し練習し、打てるようになるだけでは、社会に出た時に単なる“便利屋さん”として使われるだけである。就職の有利さという点においても、ワープロ検定を目標にしているが、学生が就職する先の上司は、ワープロが打てることをどのような意味で望んでいるのか疑問を感じる場所である。ワープロ検定のみならず、現代のあらゆる分野での検定取得指向の傾向に対して、その効果と問題点を考える時期に来ているのではないだろうか。

V-2 これからのワープロ教育のあり方

(1) 学校教育において

ワープロ教育は、ワープロがあらゆる方面で有効利用される能力を養う為にある。その為には、基礎的な操作教育はブラインドタッチのマスターを含めて、大切なことである。今回の調査でも、ブラインドタッチは、初期の段階でマスターしなければ、操作歴が増してもマスターすることはできないという結果が見られた。このことから、初期段階のキーボード教育は重要だと言える。また、初歩的な操作を使いこなせなければ、活用範囲を広げることが困難であろう。しかし、基礎を終えた段階での応用教育では、多機能の操作に関して、グラフ・線画機能などの操作教育に留まっていけない。

前章でも述べた通り、ワープロも、個性表現のできる機械である。基本操作を覚えた上で、あらゆる表現のできる、活用能力、創造力を養う必要がある。さらに言えば、ワープロを使用することにより、学生の創造力を豊かにする教育が可能だと考える。また、文書作成、及び起案能力を養うこともできるのではないかと考える。

年に1回行われる、全国ワープロコンテストの傾向として、従来は、入力速度が重視であったが、近年の傾向として、表現力の部門が追加された。まさにこれが、これからのワープロの一つの方向付けをしているといえるだろう。

ワープロは、活字離れの現代の風潮を復活させることができると前章で述べたが、学校でのワープロ教育では、定型化した文書を打つのではなく、各自が考えて文章を打つ方に重点を置くことにより、より充実したワープロの活用範囲を開拓できるのではないかと考える。となると、ワープロ検定を目標にすることに於いて矛盾が生じ、さらには、学生の就職先が、

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

学生に対してどのような人材を要求しているかも合わせて考え直す必要があると考える。

(2) ワープロをとりまく環境

また、現在のワープロの方向性として、LANによる文書の共有・一元管理、電子ファイリングシステムによる省スペース化、DTPによる文書表現力の強化、パソコン通信機能による文書でのコミュニケーションなどが挙げられている。ワープロは単なる文書作成の効率化の時代から、文書処理の効率化を考える重要な時期に変わりつつある。

オフィスにおける文書の効率化は、単に文書入力・編集・保存の機能のみで行われるものではない。文書を速く打てることが、文書処理の効率化ではない。文書管理能力が必要である。特に、パーソナルワープロが一人のデスクに1台となった時、文書を個人管理していたのでは、ワープロを有効利用しているとは言えないであろう。現在の、電子ファイリングシステムは、大企業相手のものではなく、部課単位の処理に重点を置いている。即ち、文書処理をOA化として定着させるには、組織内使用者全員の文書処理への意識改革が今後ますます必要になってくるのである。

ワープロ教育では、操作教育だけでなく、そういった広い視野で文書処理を考える能力を持った人材を育てなければならない。学生にも、そういう広い意味の活用方法を紹介し、社会に出た時に自らが就職先で意識改革をもたらすような姿勢を持ってもらいたい。

ワープロ発売当初、ワープロの浸透は、若い世代から始まった。会社の上司は、ワープロをタイプライタと同じように考え女子社員のする仕事だと考えていた。しかし、確実に高年齢層への普及は進んでいる。今回の調査でも使用者は、広範囲の年齢層に渡っていた。ワープロがタイプライタではないという認識が浸透してきた為であろう。文書への意識改革は若い世代から行えるものだと考える。

(3) 社会におけるワープロ教育

調査結果で、ワープロは独学で十分という意見も多く見られた。その理由は、現在のワープロ教育が、単なるワープロ操作の訓練になっているからではないか。操作だけなら、画面の絵を見て操作できるアイコン機能、ワープロのガイダンス機能の充実などにより十分独学でまかなえるようになるであろう。

しかし、ワープロ教育者は、ワープロのインストラクター（操作教育者）ではなく、各分野でワープロが有効利用される為のワープロのトータルアドバイザーでなければならないと考える。今回の調査で、ワープロが有効利用されない理由として、活用事例がほしい、何に使ったらよいかわからないという意見が多く出された。便利そうだから買った、では有効利用される可能性は少ない。たとえばパソコン・オフコンを紹介する場合には、はじめに操作説明などは行わない。業種別・部門別の活用範囲の事例紹介、パソコンを導入することによ

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

り、いかにメリットがあるかを紹介するのが普通である。このことは、ワープロにとっても同じだと考える。ビジネス向けには、業種別・部門別の活用事例の紹介、ホームユースとしては、家庭での潜在的な活用範囲の提案ができなければならない。

その為には、実際に有効に活用されている企業、部門などの方法を吸収し、紹介する方法もますます重要になってくるであろう。

技術の進歩には、終わりがなく、今後も素晴らしいワープロがどんどん登場してくるであろう。ワープロが多機能・高性能になった今、何の為の多機能か、その開発構想をふまえた活用方法が理解されなければ、いわゆる“宝のもちぐされ”になってしまう。多機能を使いこなしてこそワープロの良さが発揮できると考える。現在の問題点として、開発者・メーカー側の現在及び将来的な構想と、一般使用者の理解の間には、かなりのギャップがあると思われる。その開発分野の展望を、ユーザーに紹介する役目をワープロ教育者は担っているのである。

V-3. ワープロ普及のために

ワープロの普及に伴い、まだワープロを使用していない人に対するワープロの知名度も高くなり、現在使用していない人の中でも今後使用したいと思っている人も多い。特に注目したいのは、専業主婦でも3割までが今後使用したいと答えていた。しかし、使用したい範囲については漠然としたものが多かった。

近い将来、ワープロが家庭に1台となる中で、ワープロが有効利用される為の問題点は、パーソナルワープロの位置づけにあると考える。現在のパーソナルワープロは、会社で一人1台の為のワープロとしても使われ、家庭で仕事ができる時代への方向として家庭にも持ち込まれている。この家庭のワープロが、単にビジネスの延長としてのみの機械なのか、ホームユース用として専業主婦層にとって利用価値があるものかいまだに曖昧である。

勿論、家庭では、子供がレポートや論文を書く為に大いに利用する時代がくるであろう。しかし、今回の文字に対する意識調査で、私的な文書に活字を利用することに抵抗が強いことから考えても、家庭のワープロの活用範囲を考える必要があると考える。ワープロは知的生産の道具であると言われる。ワープロが家庭に浸透することにより、より豊かな生活の可能性は十分期待されるであろう。

新製品とは、はじめは生活の中に“なくても済ませられる”製品である。その中から消費者の潜在ニーズを引き出すことにより、より豊かな生活を送れるようになる。ワープロが家庭に1台の時代になる中で、ホームユースワープロとしての利用価値、活用範囲の開拓が今後必要となってくるであろう。新製品“ホームユースワープロ”の開発が必要なのかもしれない。ホームユースワープロの活用範囲の開拓はできないものだろうか。ワープロが、今後ますますの普及し、私たちの生活に溶け込む上での大きな課題である。

VI. おわりに

日本人は、伝統的に手書き文字に対する愛着を持っている。ワープロが更に普及する今後において毛筆の世界も情緒的な面で深く生き続けるであろう。また、すでに述べたように、ワープロは伝統的な文化を衰退させるものではなく、新しい文字文化を作っているのである。ワープロにより、個性的な表現が可能であるなら、一般大衆にワープロが普及することで、多くの人による、より豊かな文字文化を創造することが可能である。

ワープロは、機能を駆使することにより新しい個性表現のできる機械である。それには、我々がワープロに使われているという、受け身の立場ではなく、使っていこうという能動的な態度で賢くつきあうことが大切である。

我々は、めざましい技術の開発によって、ワープロという資産を作った。それを資源化できるかどうかはこれからの我々の手にかかっている。

ゆとりの時間が問題にされている中で、ワープロを知的生活の道具として、仕事の分野だけでなく、我々の日常生活においても使えるようになれば、ワープロ文化は、ますます発展していくであろう。

最後に、本研究にあたり、アンケート調査にご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

(註)

- 1) 日本経済新聞：1992年5月8日掲載
- 2) 本調査の概要は以下のとおりである。

調査概要 調査その1（日本人対象）

【調査方法】

- (1) 調査時期 1992年6月20日から7月20日
- (2) 調査対象者 日本人を対象に行い、同じ学校・会社・団体からは30人を上限とし、職種・性別が広範囲にわたるように配慮した。年齢については、中学生以上とした。
- (3) 調査方法 知人・友人に質問用紙を配布し、記入してもらう方法を採用した。
- (4) 調査内容
 - ①ワープロ使用実態調査
 - ②家庭におけるワープロ使用実態調査
 - ③文字に対する意識調査
 - ④キーボードの使用実態調査
- (5) 集計方法 日本電子計算株式会社
パソコンソフト“ASSUM”を使用した。

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

表 1

性別	調査数	男	性	女	性			
	590 (100)	251 (42.5)		339 (57.5)				

年代	調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	590 (100)	114 (19.3)	153 (25.9)	121 (20.5)	99 (16.8)	54 (9.2)	37 (6.3)	12 (2.0)

職業	調査数	学 生	会 社 員	公 務 員	銀 行 員	自 営	教 師	摘 要 人 数 (%)
	590 (100)	161 (27.3)	224 (38.0)	21 (3.6)	1 (0.2)	20 (3.4)	39 (6.6)	
	各種先生	医 師	アルバイト	無 職	専業主婦	そ の 他	不 明	
	7 (1.2)	1 (0.2)	7 (1.2)	17 (2.9)	81 (13.7)	7 (1.2)	4 (0.7)	

学生＝中学・高校生・専門学校・短期大学生・大学生・大学院生を含む

教師＝大学・高校・中学校・小学校・専門学校先生

先生＝文化・教養方面の先生

調査概要 調査その2（外国人対象）

【調査方法】

- (1) 調査時期 1992年7月
- (2) 調査対象者 外国人を対象に行い、特別な範囲の限定は行わなかった。
- (3) 調査方法 知人・友人に質問用紙を配り、記入してもらう方法を採用した。
- (4) 調査内容 ①外国人のタイプライタ・ワープロ使用実態調査
②外国人の文字に対する意識調査

表 2

国籍	調査数	アメリカ	ス イ ス	フランス	英 国	カ ナ ダ	ニュージーランド	スペイン
	50人	12人	7人	6人	5人	4人	4人	2人
	オーストラリア	台 湾	中 国	ド イ ツ	デンマーク	ブラジル	ベルギー	
	2人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	

性別	調査数	男	性	女	性
	50人	24人		26人	

年齢	調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不 明
	50人	1人	25人	11人	9人	1人	なし	1人	2人

職業	調査数	学 生	会 社 員	教 授	先 生	主 婦	エンジニア	修 道 女
	50人	13人	14人	11人	8人	2人	1人	1人

3) 大沢一爽編：『文字の科学』、法政大学出版部、1985年、pp. 27～28

4) 樺島忠夫、続木敏郎、関口泰次編：『日本の文字』、大修館書店、1985年、p.168 5) 黒田正典：

『書の心理』、誠信書房、1964

6) 前掲、『日本の文字』、p.167

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

- 7) 大沢前掲書、pp.43 ～55
- 8) 本堂寛編著：『国語科の解説と展開』、教育開発研究所、1988年、p.43
- 9) 福井洋子ほか：「女子短期大学における学生と企業秘書の「秘書」に対する認識の比較調査」、大手前女子短期大学紀要第11号、1992、p.263
- 10) 大沢前掲書、pp.97 ～216
- 11) 倉谷直臣：ワードプロセッサは日本語を変えるか、雑誌国文学—その解釈と鑑賞—、1982、pp.124～127
- 12) 田中良太：『ワープロが社会を変える』、1991、中公新書、pp.121～132
- 13) 日本商工会議所：「日本語文書処理技能（ワープロ技能）検定試験規則、1985年制定

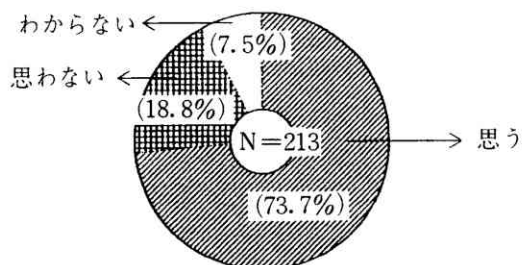
調査結果 1 調査その 1（日本人対象）

1. ワープロ使用実態調査

(1)あなたは、ワープロを使用していますか？

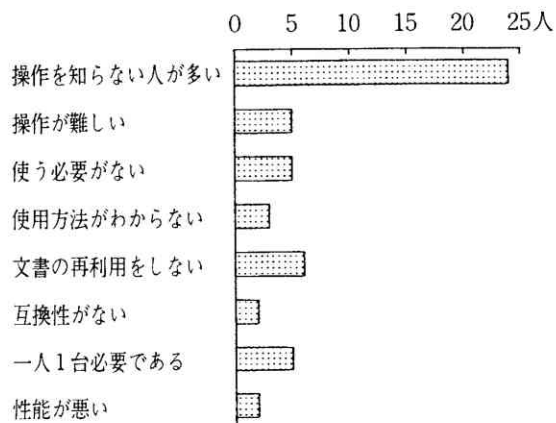
使っているか	全 体	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70以上
使っている	352 (59.7)	69 (60.5)	111 (72.5)	84 (69.4)	56 (56.6)	19 (35.2)	11 (29.7)	2 (16.7)
使っていない	238 (40.3)	45 (39.5)	42 (27.5)	37 (30.6)	43 (43.4)	35 (64.8)	26 (70.3)	10 (83.3)

(2)職場のワープロは、有効利用されていると思いますか？

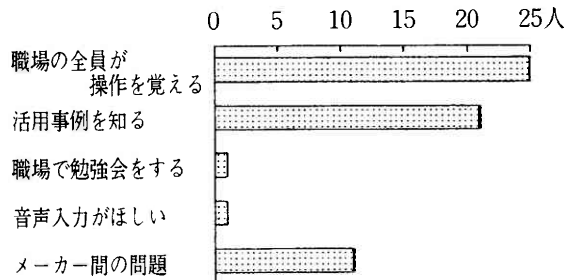


(3)思わないと答えた人に

—それは、何故ですか？



どのようにしたら有効活用されると思いますか

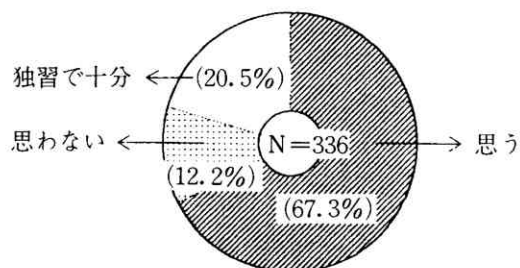


大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

(4) ワープロ操作をどこでマスターしましたか？

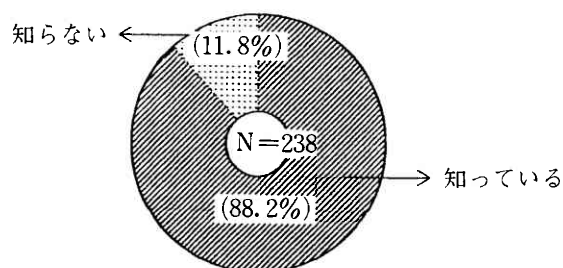
回 答 数	独 習	ワープロ教育機関	学 校	職場の先輩	ビ デ オ	社 内 研 修	そ の 他
347 (100)	175 (50.4)	21 (6.1)	63 (18.2)	72 (20.7)	7 (2.0)	1 (0.3)	8 (2.3)

(5) ワープロ教育機関は、必要だと思いますか？

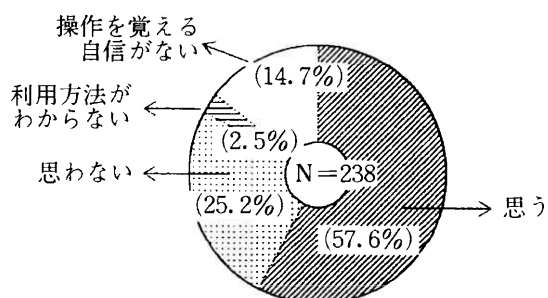


(6) ワープロを使用していない人に

——ワープロが何の機械か
知っていますか？

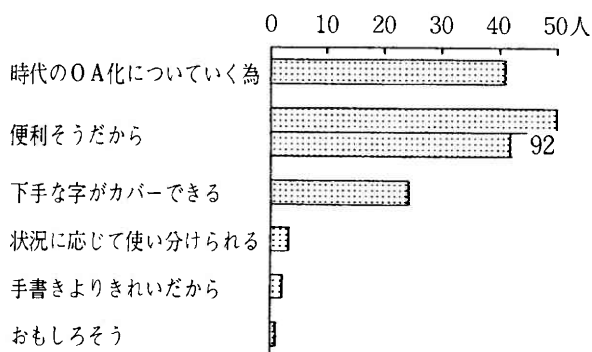


今後使いたいと思いますか



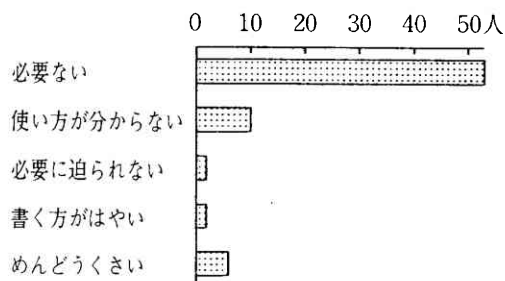
使いたいと答えた人に

——それは何故ですか？



使いたいと思わないと答えた人に

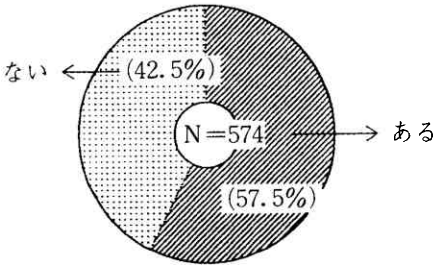
——それは何故ですか？



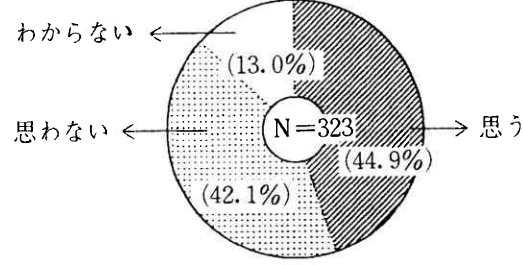
ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

2. 家庭におけるワープロ使用実態調査

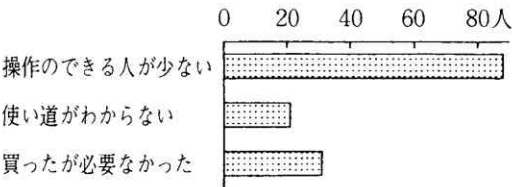
(1)家庭にワープロはありますか？



(2)家庭のワープロは、有効活用されていると思いますか？

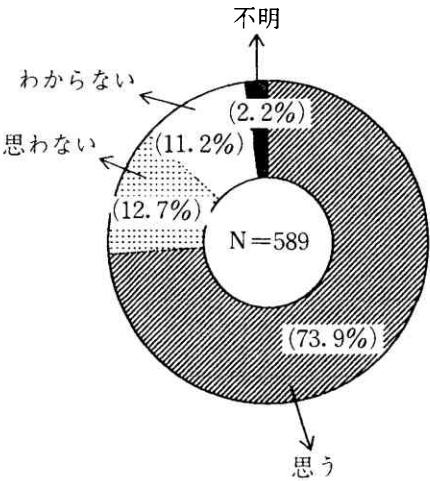


有効利用されていないと答えた人に
——その理由は？

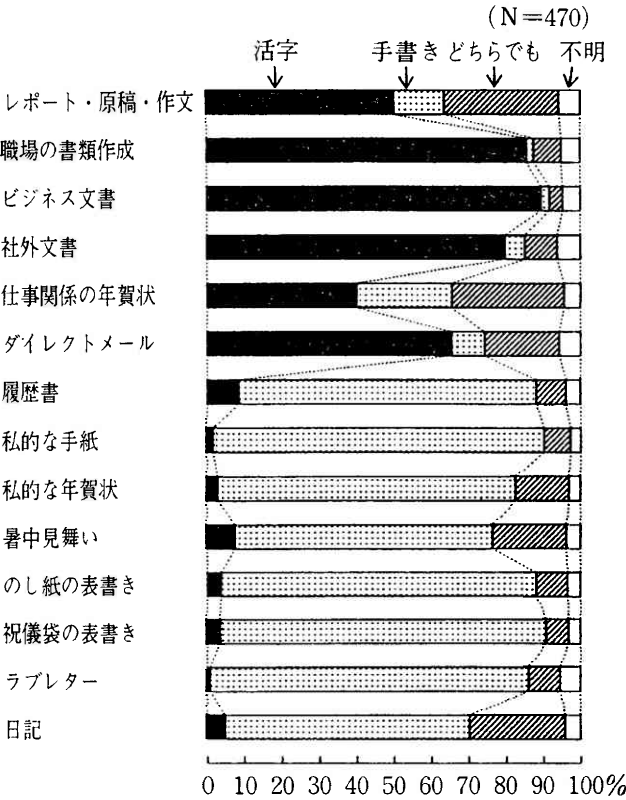


3. 文字に対する意識調査

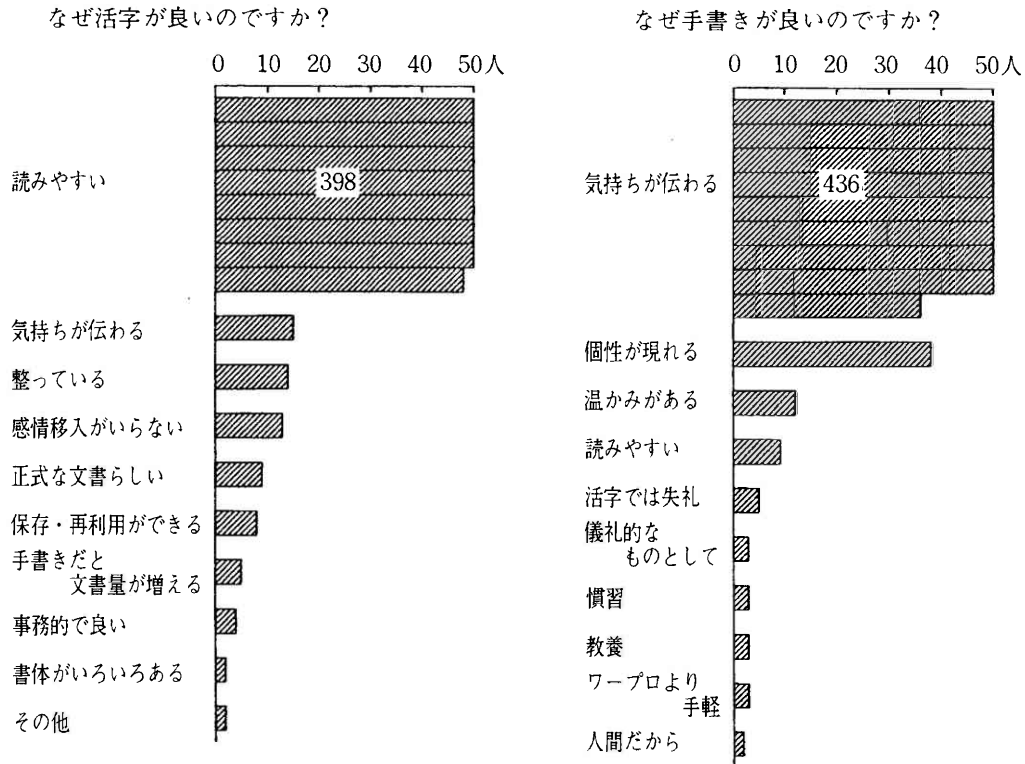
(1)活字と手書きの使い分けは必要だと思いますか？



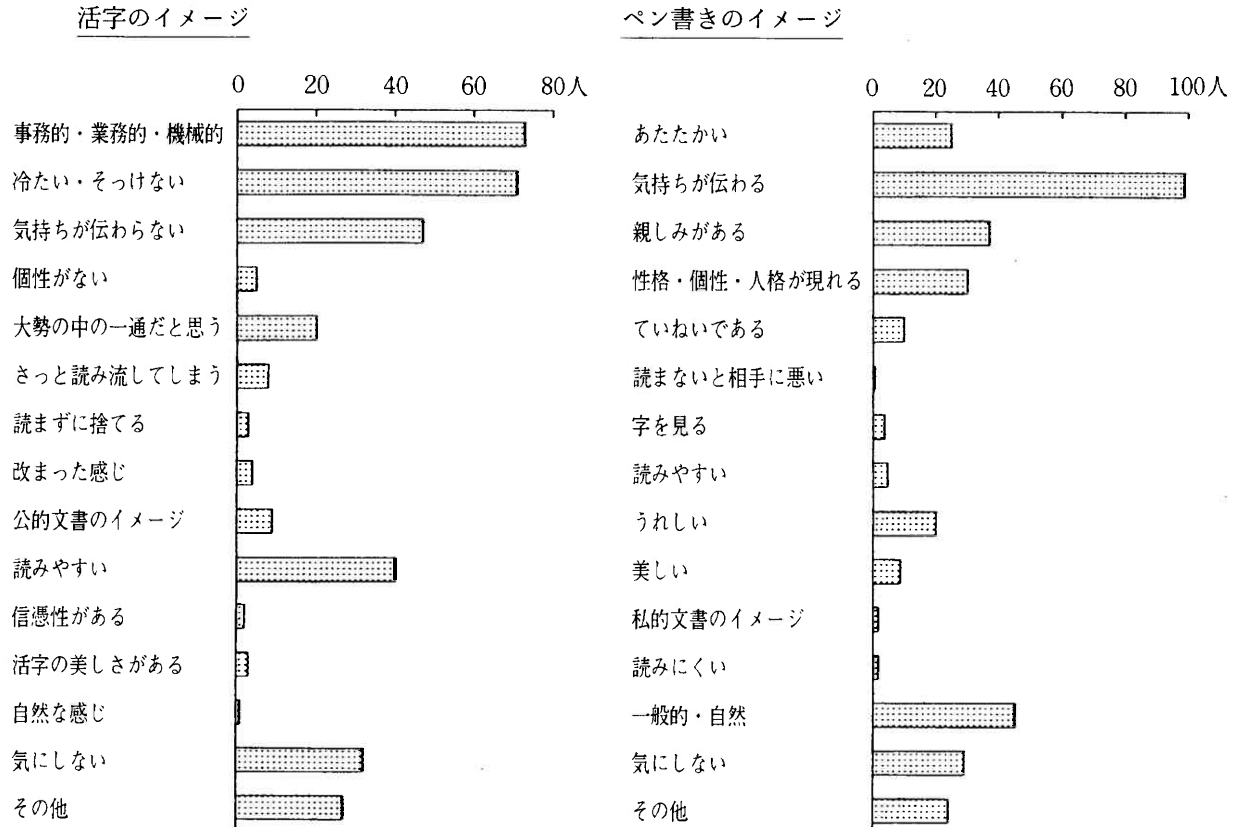
(2)どのように使い分けるのが
適当だと思いますか？



(3)活字と手書きを使い分ける理由は？



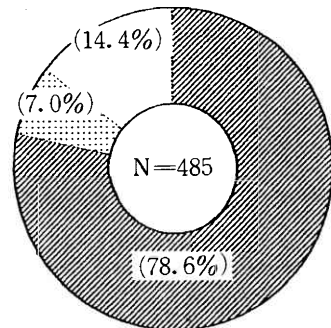
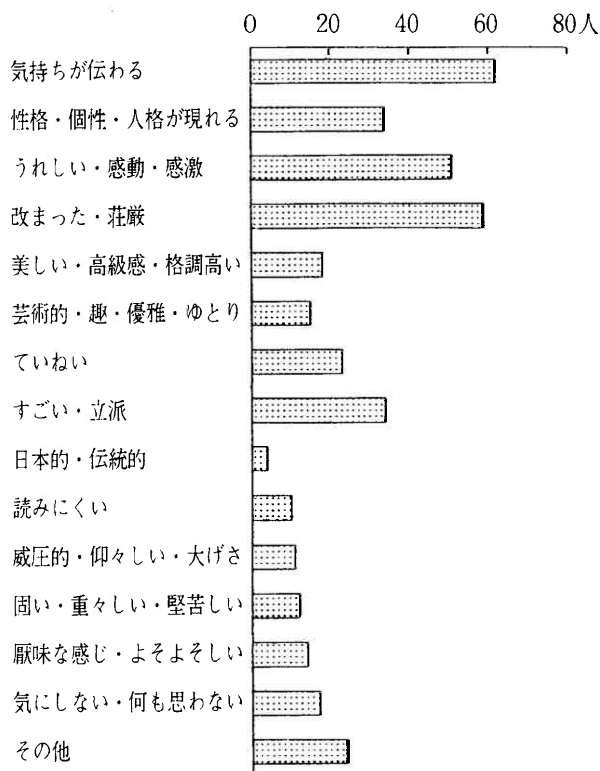
(4)手紙を貰った場合の印象の違い



ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

毛筆のイメージ

(5) プライベートな手紙を貰う場合

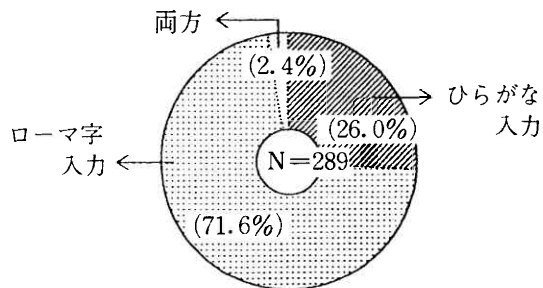
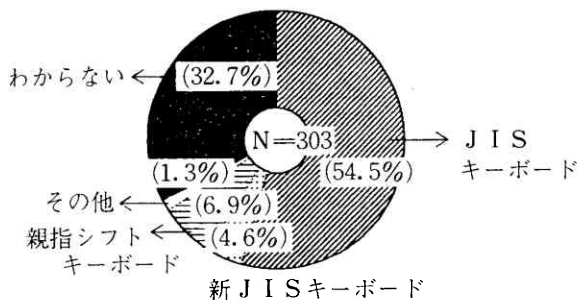


- = 読みにくい字でも自筆の手紙がほしい
- ▨ = 読みにくい字なら活字の手紙の方がよい
- = どちらでもよい

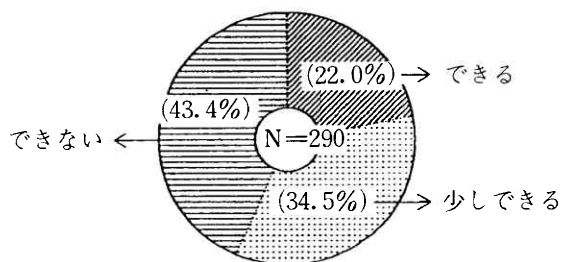
4. キーボードに関する実態調査 (ローマ字入力について)

(1) あなたの使用しているキーボードは？

(2) キーボードの入力方法は？

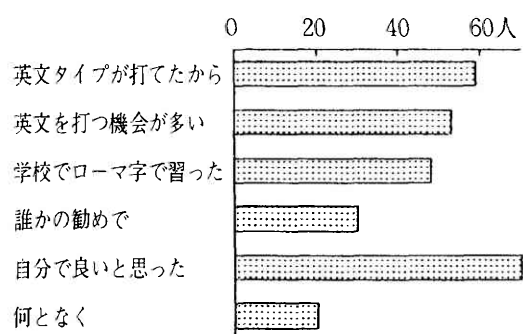


(3) ブラインドタッチができますか？

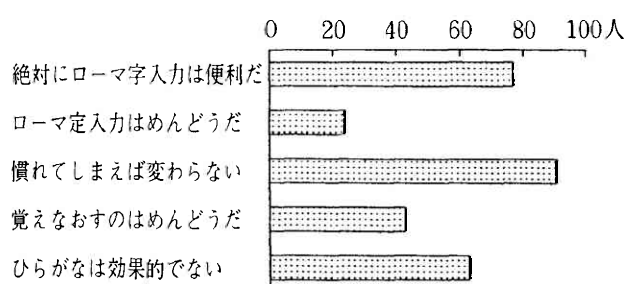


大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

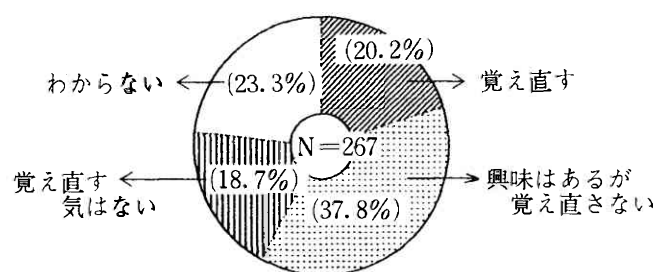
(4)なぜローマ字入力しているのですか？



(5)ローマ字入力について該当すると思うものは？



(6)新しいキーボードが出たら覚え直しますか？



調査結果2 調査その2（外国人対象）

1. タイプライター又はワープロの使用実態調査

(1)あなたは、タイプライターかワープロを使っていますか？（50人中）

タイプライターを使っている	4人	両方を使っている	21人
ワープロを使っている	22人	両方使っていない	3人

(2)いつ使い始めましたか？

タイプライター（50人中）

年代	10歳代	20歳代
人数	30人	9人

ワープロ

（50人中）

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
人数	12人	22人	5人	1人

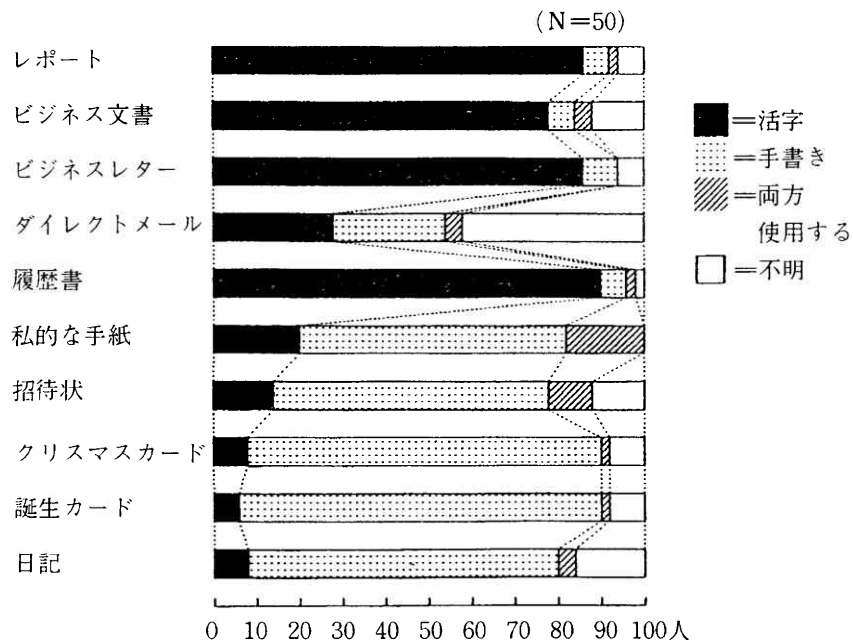
(3)どのようにして操作方法を覚えしましたか？

	中学・高校授業で	大学授業で	独学	タイプ学校	商業学校
人数	24人	4人	17人	5人	1人

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

2. 活字と手書きの使い分けについて

——以下のものをどのように使い分けていますか？



活字と手書きの使い分けに対するコメント

TYPE-WRITING	HAND-WRITING
<ul style="list-style-type: none"> • It's fun(2) • I enjoy typing.(2) • It's easy to read.(2) • It's more organized. • It's impersonal.(2) • It's much easier to compose with a w.p. since you don't have to interrupt the creative plan. • You can correct/delete/make additions afterwards. • For business correspondence etc, I would never use handwriting. • It's faster than handwriting.(3) • <u>Type writing is required for all business.</u> • It's very convenient to type in English. • Typed documents add a sense of professionalism to them.(2) • I use a wordprocessor for official documents. • Typewriters are a great asset to mankind • I prefer to use a wordprocessor for clarity. • Typing is neater than handwriting. • Typed things look more professional. • Type written documents are for official and business mail. • Handwritten is not really accepted for official usage, type written is much appreciated. • It's intended to official relationship. • Official things • It's used mainly for business and administrative communication. • <u>For business purposes always typewriter.</u> • It's for business purpose only. 	<ul style="list-style-type: none"> • It's politeness. • <u>It can show our personality.(2)</u> • <u>It can show a state of mind.</u> • Written documents give a sense of informality.(2) • Handwritten letters have a degree of intimacy about them. • I use handwriting for personal correspondence. • It's used mainly for private use, applicable to personal relationship. • Personal things (3) • For any personal matters I use handwritten.(2)

ワープロ利用に関する意識調査

以下の事項について、該当する項目に○印をご記入下さい。（全て複数回答可能です）

1. あなたについて

- ・性別 ☐ 男 ☐ 女
- ・年齢 ☐ 歳
 - ☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代
 - ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳代以上
- ・職業 ☐ 学生 ☐ 教師 ☐ 先生「文化・教育」 ☐ 無職
 - ☐ 会社員 ☐ 自営 ☐ 医師 ☐ 専業主婦
 - ☐ 公務員 ☐ その他_____
- 「業種」☐ 製造業 ☐ 流通業 ☐ サービス業
 - ☐ 金融 ☐ 商社 ☐ 建設・不動産
 - ☐ 輸送業 ☐ その他_____
- 「部門」☐ 営業部門 ☐ 管理部門 ☐ 技術部門
- 「役職」☐ 一般社員 ☐ 主任・係長 ☐ 課長 ☐ 部長
 - ☐ 専務 ☐ 常務 ☐ 社長 ☐ 会長
 - ☐ 取締役 ☐ パート ☐ 派遣社員 その他_____
- ・居住地 ☐ 都道府県

2. ワープロの使用実態

あなたは、ワープロを使っていますか？

- ☐ はい ☐ いいえ →「いいえ」と答えた人は、
次の用紙に進んで下さい。

「はい」と答えた人

- ・あなたは、ワープロをどこで使っていますか？
 - ☐ 職場 ☐ 自宅 ☐ 学校「教育機関」
- ・ワープロの操作歴は？
 - ☐ 半年未満 ☐ 約1年 ☐ 1～3年
 - ☐ 3～5年 ☐ 5年以上
- ・職場と答えた人→職場のワープロは、有効に活用されていると思いますか？
 - ☐ 思う ☐ 思わない ☐ わからない

平成4年6月

_____様

大手前女子短期大学
秘書科 野波 弘子

ワープロ利用に関する意識調査のお願い

拝啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私共は現在短期大学でワープロ教育に携わっております。より良いワープロ教育をめざす為、上記の件につきアンケート調査をお願いすることに致しました。

つきましては、御多忙中まことに恐れ入りますが、別紙調査項目にご回答いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

・有効に活用されていないと答えた人に

なぜ、有効活用されていないのだと思いますか？

- ☐ 操作方法を知らない人が多い
☐ 操作方法がむずかしい
☐ 使う必要がない
☐ 何に使えば良いかわからない
☐ その他 意見をお聞かせ下さい

どのようにしたら、有効活用されるようになると思いますか？

- ☐ 職場の全員が操作方法を覚える
☐ 活用事例を知る
☐ その他 意見をお聞かせ下さい

・あなたは、どのようにしてワープロの操作方法をマスターしましたか？

- ☐ 独学 ☐ ワープロ教育機関 ☐ 学校
☐ 職場の先輩 ☐ 操作方法のビデオ
☐ その他

・ワープロの教育機関は、必要だと思いますか？

- ☐ 思う ☐ 思わない ☐ 独習で充分である

・ワープロを使っていて、便利だと思う点は？（順位をつけて下さい。）

- ☐ 自分の作った文章が、すぐに清書されて出てくる。
☐ 原稿の修正作業が簡単にできる。
☐ 下手な字がカバーできる。
☐ その他 意見をお聞かせ下さい。

[]

・ワープロを使っていて、不便だと思う点があれば、ご意見をお聞かせ下さい

[]

「いいえ」と答えた人（ワープロを使っていないと答えた人）

・あなたは、ワープロは何の為に使う機械かを知っていますか？

- ☐ 知っている ☐ 知らない

・あなたは、今後ワープロを使いたいと思いますか？

- ☐ 思う ☐ 思わない ☐ 何の為に使ったら良いかわからない
☐ 使いたいけど操作方法を覚える自信がない

思うと答えた人 → それは何故ですか？

- ☐ 時代のO/A化について行く為
☐ 便利そうだから ☐ 下手な字がカバーできるから
☐ その他 意見をお聞かせ下さい

思わないと答えた人 → それは何故ですか？

- ☐ 必要ない ☐ 何の為に使ったら良いかわからない
☐ その他 意見をお聞かせ下さい

・ワープロを買った場合、有償の教育を受けようと思いますか？

- ☐ 思う ☐ 思わない

思うと答えた人 → 基礎操作教育に出しても良いと思う価格は？

- ☐ 3千円 ☐ 5千円
☐ 1万円 ☐ 3万円 ☐ 5万円

3. 家庭でのワープロ使用実態調査

・あなたの家には、ワープロがありますか（ワープロソフトも可）？

- ☐ ある ☐ ない ☐ わからない

「ある」と答えた人

そのワープロは、家で誰が使っていますか？（例：父・母・息子・娘・など）

- ☐ → [] 歳 ☐ → [] 歳
☐ → [] 歳 ☐ → [] 歳

あなたの家のワープロは、有効に使われていると思いますか？

- ☐ 思う ☐ 思わない ☐ わからない

「思わない」と答えた人 → それは、何故ですか？

- ☐ 操作できる人が少ない ☐ 使い道がわからない
☐ 買ったが必要なかったと思う

4. 活字と手書きの意識調査

・あなたは、文章を打つ場合、活字と手書きを使い分ける必要があると思いますか？

() 思う () 思わない () わからない

「思う」と答えた人

・あなたは、活字と手書きをどのような時に使い分けるのが好ましいと思いますか？

	活字	手書き	どちらでもよい
レポート・原稿・作文	()	()	()
職場の書類作成	()	()	()
ビジネス文書	()	()	()
社外文書	()	()	()
履歴書	()	()	()
私的な手紙	()	()	()
仕事関係の年賀状	()	()	()
私的な年賀状	()	()	()
暑中見舞い	()	()	()
のし紙の表書き	()	()	()
祝儀袋の表書き	()	()	()
ラブレター	()	()	()
ダイレクトメール	()	()	()
日記	()	()	()

※上記以外で、活字と手書きを使い分けた方が良いと思うものがあればご記入下さい。

活字 →
 手書き →

・活字の方が好ましいと選んだものについて →なぜ活字が良いのですか？

() 気持ちが伝わる

() 読みやすい

() その他 是非ご意見をお聞かせ下さい

[]

・手書きの方が好ましいと選んだものについて →なぜ手書きが良いのですか？

() 気持ちが伝わる

() 読みやすい

() その他 是非ご意見をお聞かせ下さい

[]

・プライベートな手紙をもらう場合

() 読みにくい字でも良いから、自筆の手紙がほしい

() 読みにくい字の手紙なら、ワープロで打った手紙の方がよい

() どちらでも良い

5. 美しい字を書くことに対する意識調査

・あなたは、今までに学校教育以外で書道（習字）を習ったことがありますか？

() はい () いいえ

・現在書道（習字）を習っていますか？

() はい () いいえ

・何故、習っているのですか？

() 字が上手になりたいから () 精神修行のため

() 美しい手紙が書きたいから () 書道の作品を作りたいから

() その他

・あなたは、字を上手に書けるようになりたいですか？

() 思う () 思わない () 意識したことがない

・あなたは、活字・ペン書き・毛筆の手紙を受け取った場合に、どのように印象が違いますか？それぞれを比較してご意見をお聞かせ下さい。

[]

キーボード入力に関する実態調査

現在、コンピュータ（パソコン等）のキーボードをご使用の方にお尋ねします。

下記の項目で、該当するものに○印を記入して下さい。（複数回答可能です。）

性別 ☐ 男 ☐ 女 年齢 ☐ 歳

①あなたの使用しているキーボードは？

☐ JIS配列キーボード ☐ 新JIS配列キーボード

☐ 親指シフトキーボード ☐ その他 _____ ☐ わからない

②あなたは、そのキーボードをどのように入力していますか？

☐ ひらがな入力 ☐ ローマ字入力

③あなたのワープロ操作歴は？

☐ 半年未満 ☐ 1年 ☐ 1～3年 ☐ 3～5年 ☐ 5年以上

④あなたは、ブラインドタッチ（キーを見ないで打つ）ができますか？

☐ 出来る ☐ 少し出来る ☐ 出来ない

・出来ると答えた人 → どのようにしてマスターしましたか？

☐ 独習 ☐ 学校で ☐ その他 _____

⑤ローマ字入力をする人に

・あなたは、なぜローマ字入力をしているのですか？

☐ 英文タイプが打てたから

☐ 英文を打つ機会が多いから

☐ 学校（教育機関）で最初にローマ字入力で習ったから

☐ 誰かの勧めで

☐ 自分でローマ字入力が良いと判断したから

☐ 何となく

・ローマ字入力に関して、該当すると思うものに○印を記入して下さい。

☐ 絶対にローマ字入力は便利だ。

☐ わざわざ、ひらがなをローマ字に変換するのはめんどうだ。

☐ ローマ字入力は、慣れてしまえばひらがな入力と変わらない。

☐ ひらがな入力の方が楽だと思うが、覚え直すのがめんどうだ。

☐ ひらがなのキー配列を覚えるのは数が多いので効果的でないと思う。

⑦もし、ひらがな入力に最適であると実証されたキーボードが開発されたらそのキーボードをマスターしたいと思いますか？

☐ 思う ☐ 興味はあるが、おそらくマスターしないと思う。

☐ 新しいキーボードを覚え直す気は無い。 ☐ わからない

・あなたは、楷書・行書・草書という書体があるのを知っていますか？

☐ 知っている ☐ 知らない ☐ 聞いたことはあるがよくわからない

「知っている」と答えた人

あなたは、その書体が書けますか？

楷書 — ☐ 書ける ☐ 少し書ける ☐ 書けない

行書 — ☐ 書ける ☐ 少し書ける ☐ 書けない

草書 — ☐ 書ける ☐ 少し書ける ☐ 書けない

あなたは、今後その書体を覚えたいと思いますか？

☐ 思う ☐ 思わない

☐ どのように使い分けたら良いかわからない

三書体を書けると答えた人

あなたは、どのようにその書体を使い分けていますか？

ご意見をお聞かせ下さい。

——ご協力ありがとうございました——

ワードプロセッサと伝統的的文字文化試論

2-17 Hyakurakusou 2-chome

Mino City Osaka, 562

JAPAN

July 1 1992

Dear Sir/Madam,

RE:QUESTIONAIRES ABOUT WORDPROCESSOR

Thank you very much for your kind assistance for our academic research.

In Otemae Junior College, we have the secretarial course department where I have been teaching wordprocessor operation for four years.

In Japan, handwritten letters and documents had been accepted even for official usage till very recent years, as Japanese character typewriter was not popularly used because of its difficulties. In these days, however, the wordprocessor is very commonly used and even Japanese letters can be easily prepared just like English letters.

To make comparison with the aforementioned trend in Japan, I'd like to gather some information about wordprocessor or typewriter operation in your case.

It would be very much obliged if you could return your comments by the 20th of July. Your cooperation and prompt reply shall be highly appreciated.

Sincerery yours,

Hiroko Nonami

HIROKO NONAMI

大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院・大手前ビジネス学院「研究集録」第12号（1992年）

QUESTIONAIRES

Please check the following questions and give some comments, if any.

1. About you

Nationalities: ()
Sex : () Male () Female
Age : ()
Occupation : () student () teacher () professeor
 () housewife () no occupation () office employee
 () business person () other _____

your address: () prefecture(if you stay in Japan)

2. How to use your word-processor or typewriter

(1) Do you use typewriter or word-processor ?

- () I use typewriter.
- () I use wordprocessor.
- () I use both typewrriter and word-processor.
- () I don't use neither typewriter nor word-processor.

(2) When did you start using typewriter ?

I have used typewriter since I was () years old.

I have used wordprocesser since I was() years old.

(3) How do you learn the operation of typing ?

- () I learned it at (elementary, junior high, high) school class.
- () I learned it at (college, university) class.
- () I learned for myself.
- () I learned at the school of typing.

ワードプロセッサと伝統的文字文化試論

(4) How do you prepare the followings?

	I use typewriter.	I write it by hand.
reports	()	()
business documents	()	()
business letter	()	()
private letter	()	()
direct mail	()	()
diary	()	()
invitation card	()	()
christmas card	()	()
birthday card	()	()
curriculum vitae	()	()

(5) Please write your comments about typewritten and handwritten, if any.

(6) Please write your comments about Japanese Calligraphy.

If you don't mind, please give me your name and adress for further inquiry.